

# 景気見通し調査(平成30年9月期)

## 調査結果

福井商工会議所  
中小企業総合支援センター

### 【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

**調査時期** 平成30年9月10日(月)～9月14日(金)

**調査方法** FAXによる送付、回収

**調査対象** 福井商工会議所 会員小規模事業所より 340件を抽出  
(製造業・建設業・その他・・・従業員20人以下の事業所  
卸売業・小売業・サービス業・・・従業員5人以下の事業所)

**回答数** 181件 (回答率53.2%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
5名以内	15	12	21	16	11	75(41.4%)
6～10名以内	16	14	2	3	5	40(22.1%)
11名以上	20	13	11	8	14	66(36.5%)
計	51(28.2%)	39(21.5%)	34(18.8%)	27(14.9%)	30(16.6%)	181

### DI値とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇した」とする企業割合から、「悪い」「下落した」とする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果の概要】

猛暑、台風等の自然災害の影響により一時的に悪化

～サービス業では国体の影響もあり改善傾向～

① 業界の景況

- ・全業種で2期ぶりの悪化
- ・卸売・サービス業においては改善

④仕入価格

- ・全業種で2期ぶりに改善
- ・建設業において大きく改善

②自社の景況

- ・全業種で2期ぶりの悪化
- ・卸売・サービス業においては改善

⑤販売価格

- ・全業種で僅かに悪化
- ・卸売、小売業のみ改善

③売上高(受注高)

- ・全業種で2期ぶりの悪化
- ・建設・サービス業においては改善

⑥採算(収支)

- ・全業種で2期連続の改善
- ・製造業を除くすべてで改善

※今回(9月期)調査については、2月豪雪の影響による前々回(3月期)調査の大幅悪化と、その反動による前回(6月期)調査の大幅回復の影響もあり、前回(6月期)との比較では若干悪化が見られる。

■業界別の動向

業種	コメント	前回調査との比較					
		①業界の景況	②自社の景況	③売上高 (受注高)	④仕入価格 (商品、資材、 原材料等)	⑤販売価格 (受注単価)	⑥採算 (収支)
全業種		↓	↓	↓	↑	↓	↑
製造業	+ 半導体を使用する電気製品が好調	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	- 受注の低迷	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	- 原料、加工費、運賃の高騰	↓	↓	↓	↓	↓	↓
建設業	- 消費の低迷	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	+ 工事の増加	↓	↓	↑	↑	↓	↑
	- 工期の遅れ	↓	↓	↑	↑	↓	↑
卸売業	- 人員の不足	↓	↓	↑	↑	↓	↑
	- 受注単価の低下	↓	↓	↑	↑	↓	↑
	+ 受注が好調	↑	↑	↓	↑	↑	↑
小売業	+ 雪害の復旧需要	↑	↑	↓	↑	↑	↑
	- 国内外ともに業界低迷	↑	↑	↓	↑	↑	↑
	- 悪天候による価格高騰	↑	↑	↓	↑	↑	↑
サービス業	- 国体消費による売上増	↓	↓	↓	↓	↑	↑
	- 仕入単価の上昇	↓	↓	↓	↓	↑	↑
	- 受注の低迷	↓	↓	↓	↓	↑	↑
サービス業	- 大型量販店との競争	↓	↓	↓	↓	↑	↑
	+ 宿泊客の増加	↑	↑	↑	↑	↓	↑
	+ 国体消費による売上増	↑	↑	↑	↑	↓	↑
サービス業	- 人手不足	↑	↑	↑	↑	↓	↑
	- 景気低迷	↑	↑	↑	↑	↓	↑

※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化表している。

■調査結果概要(調査項目)

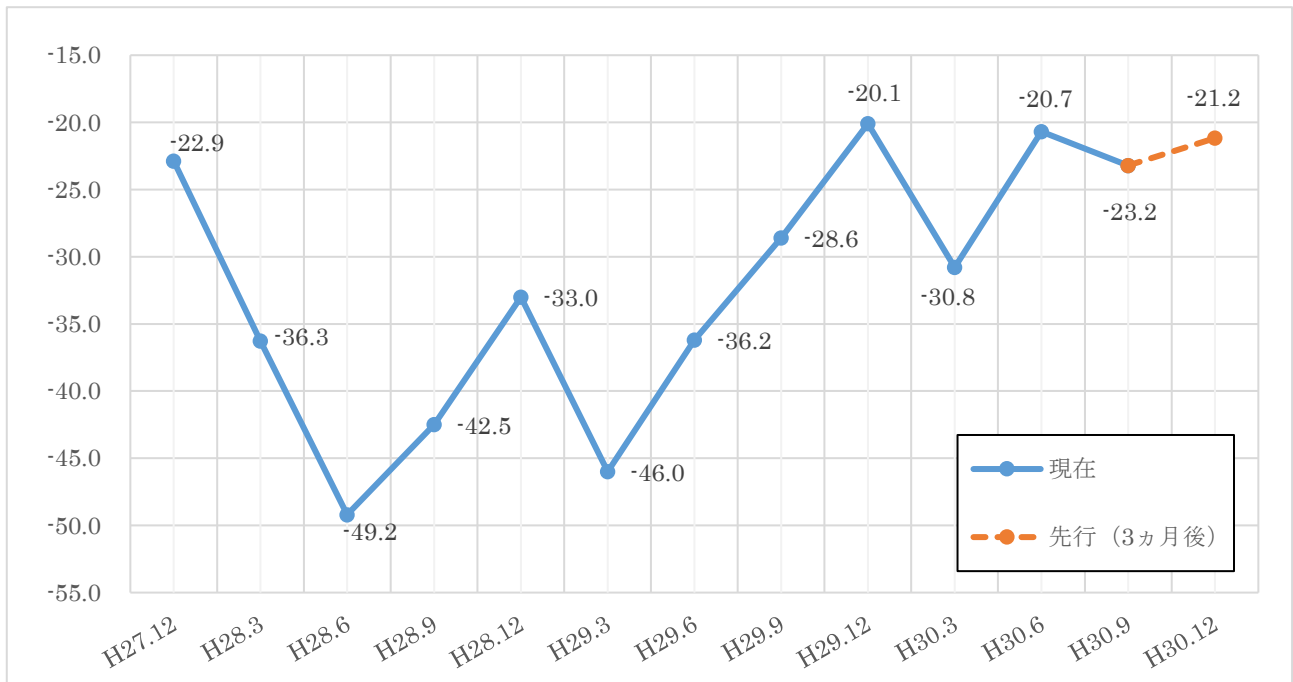
①業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-23.2	-2.5	-21.2	2.0
製造業	-27.5	-6.3	-22.9	4.5
建設業	5.1	-7.7	8.1	3.0
卸売業	-47.1	7.1	-60.0	-12.9
小売業	-44.4	-15.0	-38.5	6.0
サービス業	-6.7	32.2	0.0	6.7
②自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-19.9	-3.3	-14.6	5.3
製造業	-17.6	-6.1	-4.0	13.6
建設業	-2.6	-5.1	8.1	10.7
卸売業	-38.2	15.9	-53.1	-14.9
小売業	-44.4	-15.0	-40.0	4.4
サービス業	-3.3	7.8	3.7	7.0
③売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-15.6	-3.1	-17.0	-1.4
製造業	-29.4	-12.1	-14.0	15.4
建設業	21.1	18.6	8.1	-12.9
卸売業	-35.3	-2.0	-48.5	-13.2
小売業	-42.3	-12.9	-45.8	-3.5
サービス業	6.7	-4.4	7.4	0.7
④仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-46.0	5.0	-49.4	-3.4
製造業	-64.7	-12.8	-56.0	8.7
建設業	-28.9	23.6	-37.8	-8.9
卸売業	-52.9	13.7	-58.8	-5.9
小売業	-50.0	-8.8	-62.5	-12.5
サービス業	-22.2	11.1	-29.6	-7.4
⑤販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	6.1	-2.5	7.5	1.4
製造業	7.8	-1.8	8.0	0.2
建設業	-2.6	-12.8	2.6	5.2
卸売業	6.1	1.9	-3.1	-9.2
小売業	23.1	11.3	24.0	0.9
サービス業	0.0	-5.6	10.3	10.3
⑥採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-17.7	3.5	-20.0	-2.3
製造業	-25.5	-14.0	-18.0	7.5
建設業	-7.7	4.8	-15.8	-8.1
卸売業	-32.4	26.0	-42.4	-10.1
小売業	-22.2	13.1	-30.8	-8.5
サービス業	3.3	8.9	7.1	3.8

※青の塗潰しは改善を、赤の塗潰しは悪化を表している。

## ①【業界の景況】

業界全体の現在 DI 値は▲23.2 を示し、前回調査（H30.6 期）から 2.5 ポイント悪化した。業種別では卸売業 ▲47.1（前回▲54.2）、サービス業▲6.7(前回▲38.9)は改善。一方、製造業▲27.5（前回▲21.2）、建設業 5.1（前回 12.8）、小売業▲44.4（前回▲29.4）は悪化となった。3 か月後の先行 DI は▲21.2 と今回の調査より 2.0 ポイント上昇の見通しとなっている。

特にサービス業では前回比 32.2 と大幅に改善された。これは福井国体や北陸新幹線延線工事に係る選手・作業員のホテル・旅館への宿泊が増加したことによるものと推測できる。

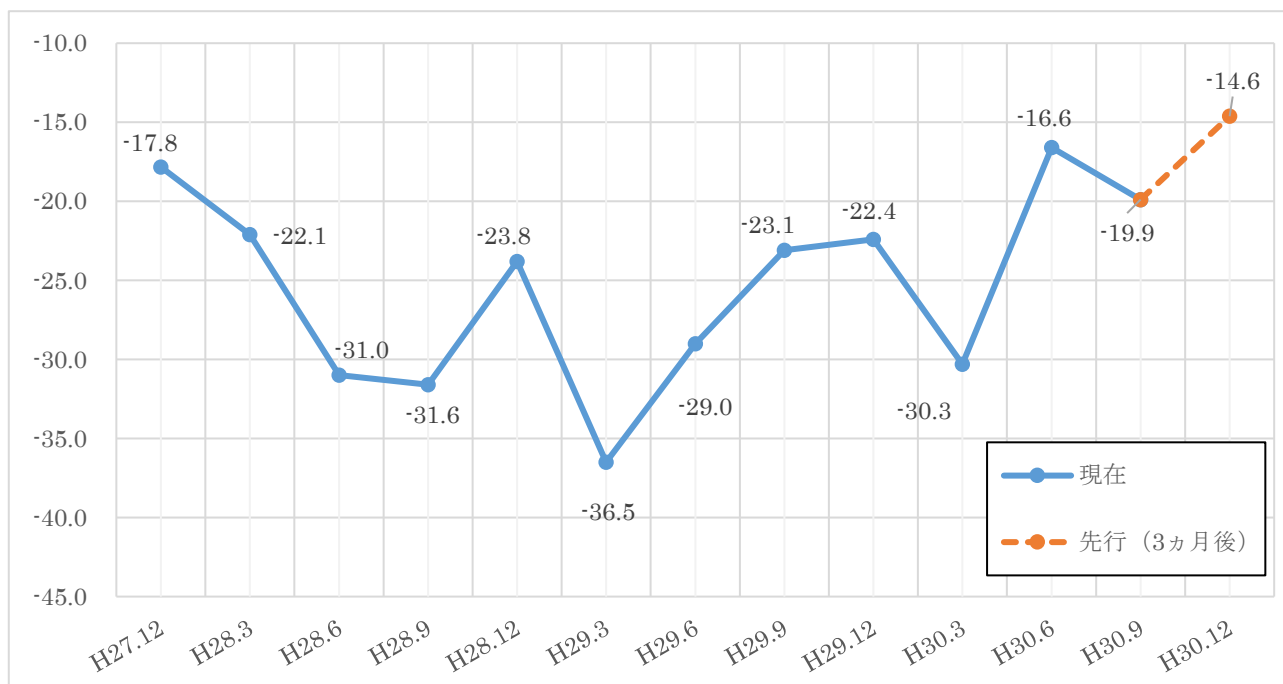


①業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-23.2	-2.5	-21.2	2.0
製造業	-27.5	-6.3	-22.9	4.5
建設業	5.1	-7.7	8.1	3.0
卸売業	-47.1	7.1	-60.0	-12.9
小売業	-44.4	-15.0	-38.5	6.0
サービス業	-6.7	32.2	0.0	6.7

## ②【自社の景況】

自社の景況は、現在 DI 値▲19.9 となり、前回調査より 3.3 ポイント悪化した。業種別では、卸売業が▲38.2（前回▲54.2）、サービス業 6.7（前回▲11.1）と改善した。一方、製造業▲17.6（前回▲11.5）、建設業▲2.6（前回 2.5）、小売業▲44.4（前回▲29.4）は悪化となった。3 か月後の先行 DI は▲14.6 と今回の調査より 5.3 ポイント上昇の見通しになっている。

全体としては前回調査と比べると悪化しているものの、平成 29 年 3 月の調査以来順調に改善している傾向にあると言える。

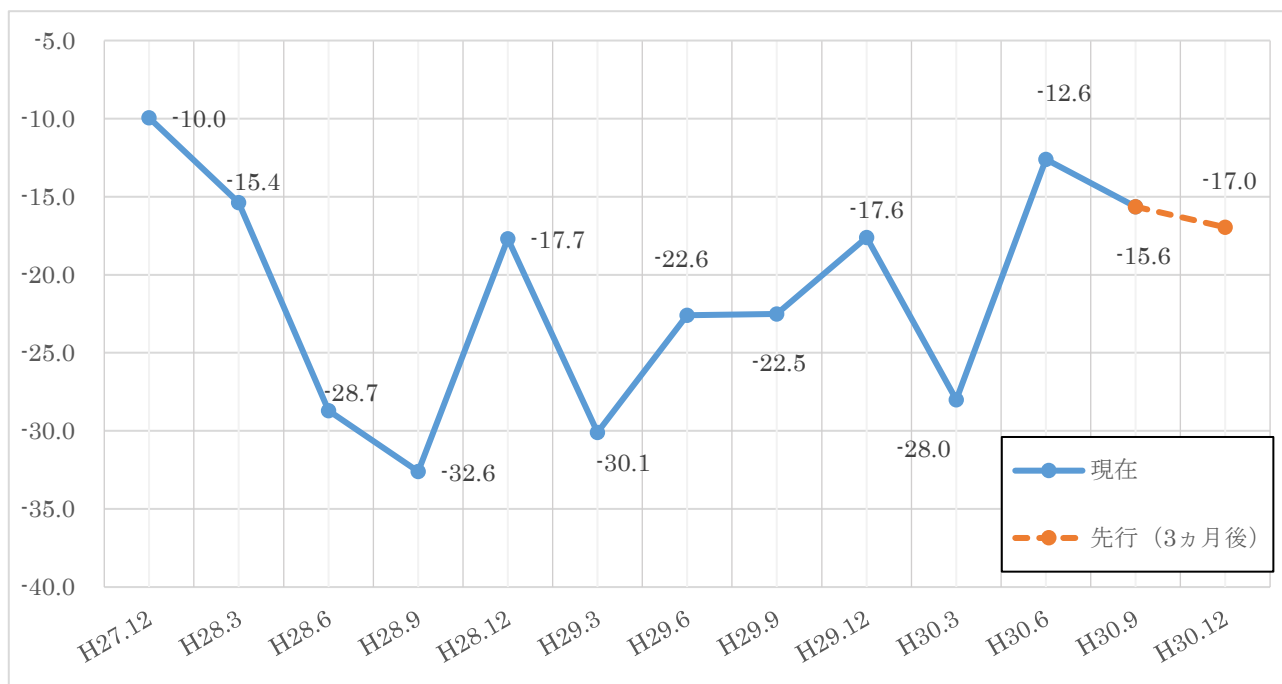


②自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-19.9	-3.3	-14.6	5.3
製造業	-17.6	-6.1	-4.0	13.6
建設業	-2.6	-5.1	8.1	10.7
卸売業	-38.2	15.9	-53.1	-14.9
小売業	-44.4	-15.0	-40.0	4.4
サービス業	-3.3	7.8	3.7	7.0

### ③【売上高(受注高)】

売上高(受注高)の状況を表す現在DI値は▲15.6となり、前回調査から3.1ポイントの悪化となった。業界別では建設業のみが21.1(前回2.5)と改善した。一方、製造業▲29.4(前回▲17.3)、卸売業▲35.3(前回▲33.3)、小売業▲42.3(前回▲29.4)、サービス業▲6.7(前回11.1)は悪化となった。3か月後の先行DIは▲17.0と今回の調査より1.4ポイント減少の見通しとなっている。

建設業においては、国体開催や北陸新幹線延線に向けた工事の増加や大雨、台風による建築物の修繕等により受注量が激増したと推測できる。

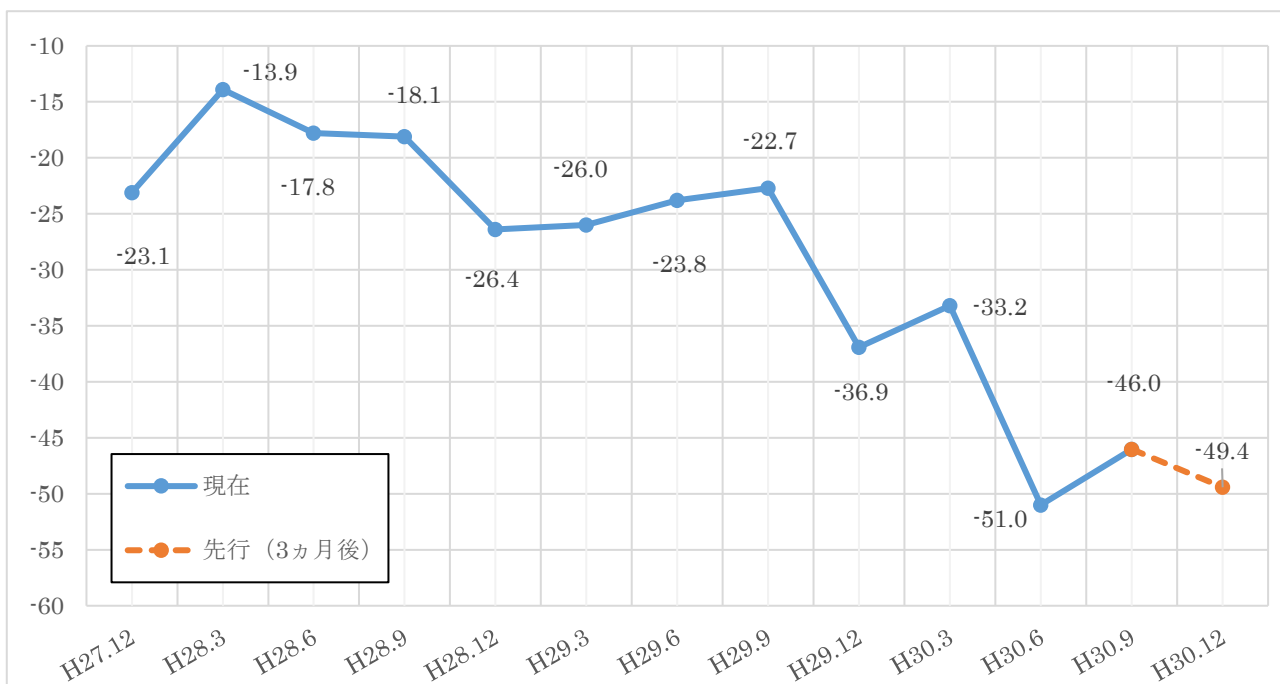


③売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
<b>全体</b>	-15.6	-3.1	-17.0	-1.4
製造業	-29.4	-12.1	-14.0	15.4
建設業	21.1	18.6	8.1	-12.9
卸売業	-35.3	-2.0	-48.5	-13.2
小売業	-42.3	-12.9	-45.8	-3.5
サービス業	6.7	-4.4	7.4	0.7

#### ④【仕入価格】

仕入価格の現在 DI 値は▲46.0 で、前回調査から 5.0 ポイント改善している。業種別では建設業▲28.9（前回▲52.5）、卸売業▲52.9（前回▲66.7）、サービス業▲22.2（前回▲33.3）が改善した。一方、製造業▲29.4（前回▲51.9）小売業▲50.0（前回▲41.2）は悪化となった。3 ヶ月後の先行 DI は▲49.4 と今回の調査より 3.4 ポイント減少の見通しとなっている。

H30.3 月の調査では一時的に仕入価格の下落を示しているが、全体では仕入価格の高騰が続いていることが分かる。これは 7 月の猛暑や台風により農作物の収穫量に影響があったためであると推測する。

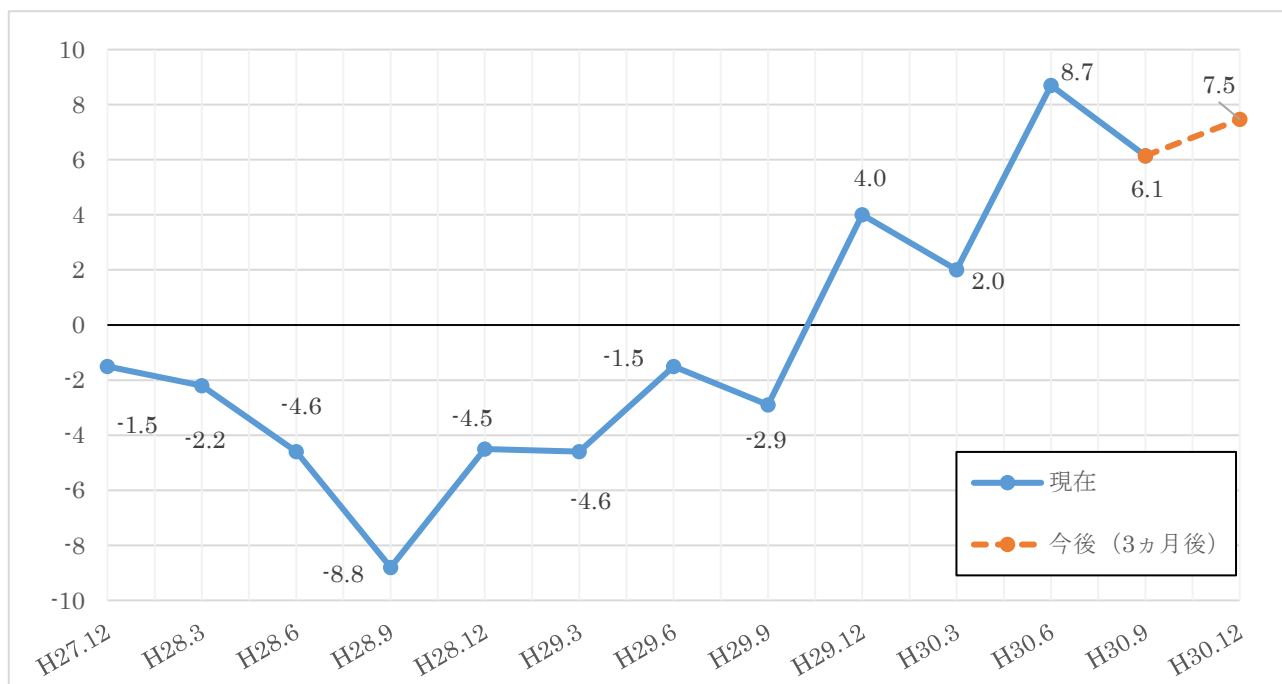


④仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-46.0	5.0	-49.4	-3.4
製造業	-64.7	-12.8	-56.0	8.7
建設業	-28.9	23.6	-37.8	-8.9
卸売業	-52.9	13.7	-58.8	-5.9
小売業	-50.0	-8.8	-62.5	-12.5
サービス業	-22.2	11.1	-29.6	-7.4

## ⑤【販売価格】

販売価格の現在 DI 値は 6.1 となり、前回調査から 2.5 ポイント悪化した。業種別では卸売業 6.1（前回 4.2）、小売業 23.1（前回 11.8）となり改善した。一方、製造業 7.8（前回 9.6）、建設業▲2.6（前回 10.2）、サービス業 0.0（前回 5.6）は悪化となった。業種別の先行 DI 値については、小売業、サービス業で更に改善が見込まれる。3 ヶ月後の先行 DI 値は 7.5 で、1.4 ポイント上昇の見通しとなっている。

DI は前回指数との比較になるため、前回調査時の雪の影響、7 月の大雨、猛暑、台風等さまざまな外的要因が重なり、実際の景況感と調査結果にギャップが生じる結果となったと考える。



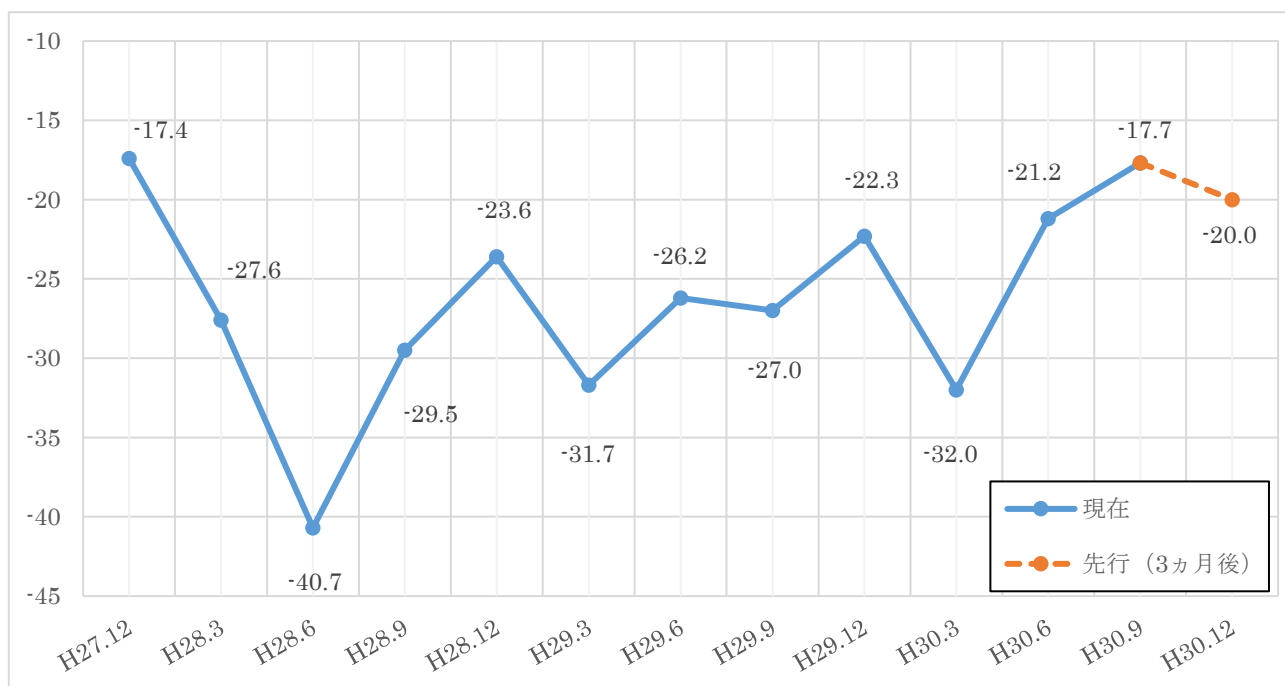
⑤販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	6.1	-2.5	7.5	1.4
製造業	7.8	-1.8	8.0	0.2
建設業	-2.6	-12.8	2.6	5.2
卸売業	6.1	1.9	-3.1	-9.2
小売業	23.1	11.3	24.0	0.9
サービス業	0.0	-5.6	10.3	10.3



## ⑥【採算(収支)】

採算(収支) 状況を表す現在 DI 値は▲17.7 と、前回調査から 3.5 ポイント改善している。業種別では建設業 ▲7.7 (前回▲12.5)、卸売業▲32.4 (前回▲58.3)、小売業▲22.2 (前回▲35.3)、サービス業 3.3 (前回▲5.6) と改善した。一方、製造業▲25.5 (前回▲11.5) のみ悪化となった。3 ヶ月後の見通しは、卸売業を除く全業種で悪化が予測される。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲20.0 で、2.3 ポイント減少の見通しとなっている。

全体的には採算について改善傾向にあり、特にサービス業では福井国体や北陸新幹線延線工事関係者の増加によるものとされる改善が見られる。しかしながら、依然として全体としての現在 DI はマイナスに大きく振れている結果となった。

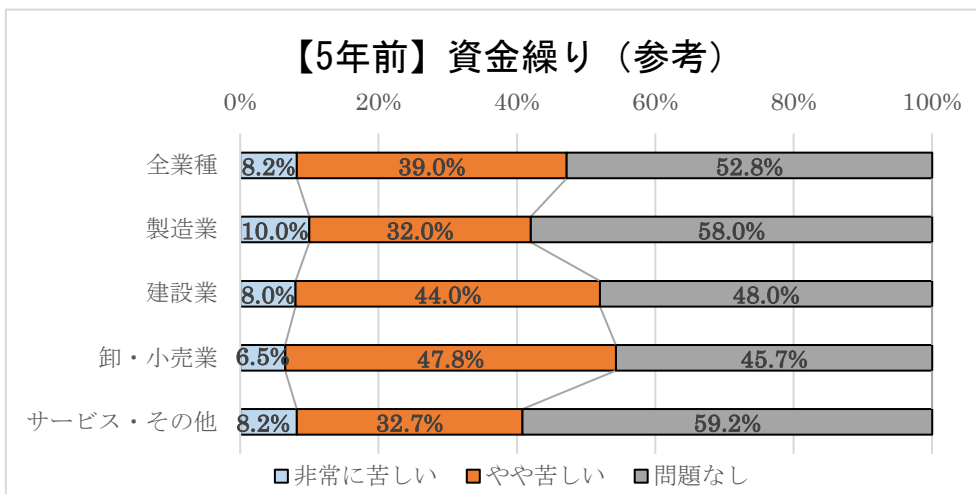
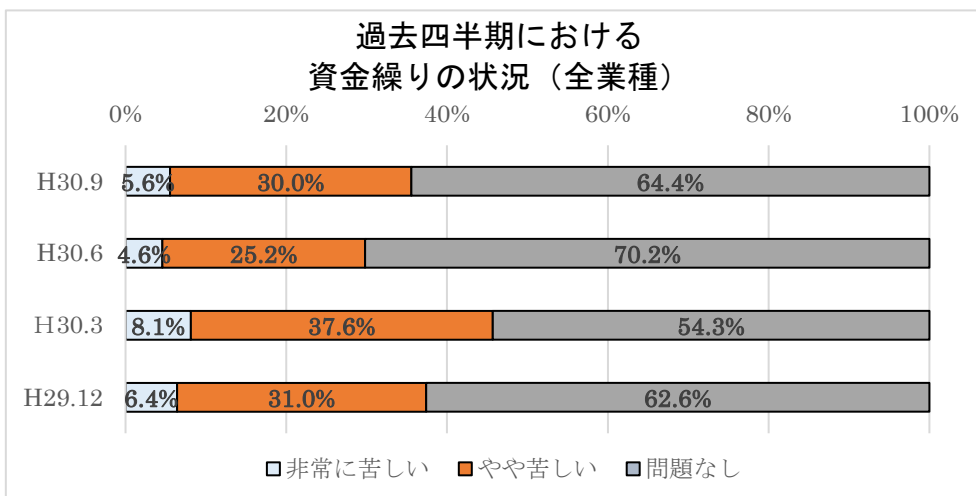
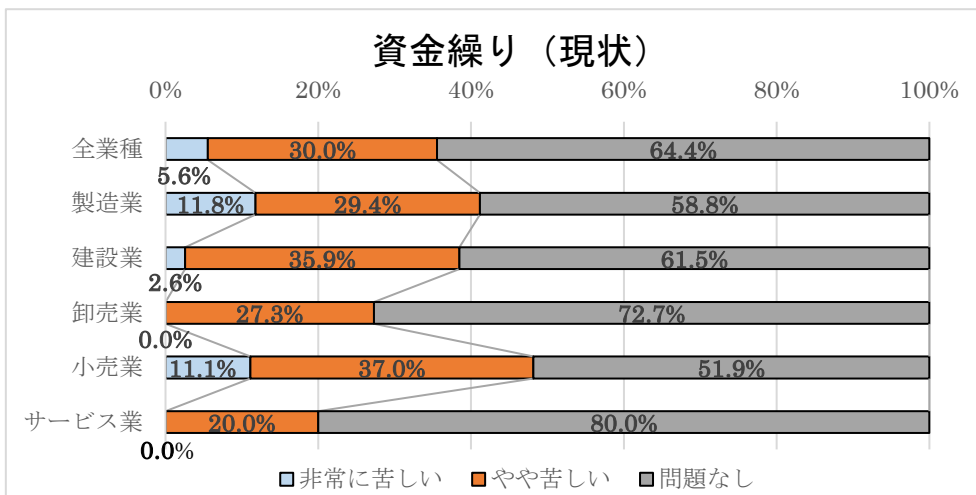


⑥採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
<b>全体</b>	-17.7	3.5	-20.0	-2.3
製造業	-25.5	-14.0	-18.0	7.5
建設業	-7.7	4.8	-15.8	-8.1
卸売業	-32.4	26.0	-42.4	-10.1
小売業	-22.2	13.1	-30.8	-8.5
サービス業	3.3	8.9	7.1	3.8

## 【資金繰り】

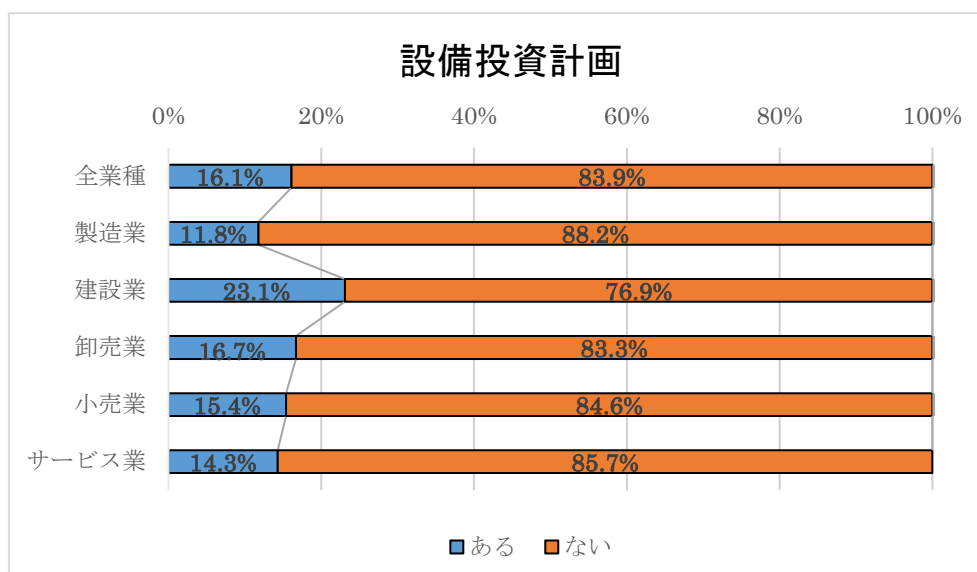
資金繰りの状況は、全業種の64.4%が「問題なし」と回答しており、業種別ではサービス業の8割が「問題なし」となった。「やや苦しい」と回答した割合をみると、他業種に比べ小売業（37.0%）、建設業（35.9%）が高い値となっている。卸売業においては「やや苦しい（27.3%）」が前回比▲1.9%と僅かに減少が見られ、その他の業種では「苦しい（非常に苦しい+やや苦しい）」と回答した企業が増加する結果となった。

資金繰りが苦しくなる要因として主に売上減少が考えられるが、今回の調査で最も「やや苦しい」の割合が大きかった小売業の要因としては、売上減少によるものが大きいと推測できる。



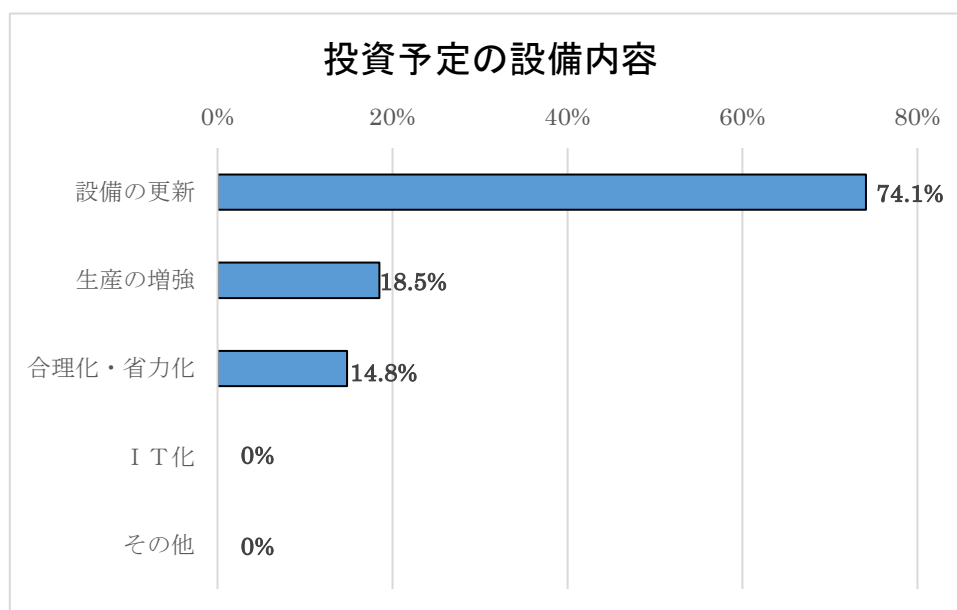
## 【設備投資】

今後3ヶ月以内に設備投資の予定があるかどうか伺ったところ、全業種では16.1%が「ある」と回答している。業種別では建設業の23.1%（前回比5.6%増）が今後3ヶ月以内の設備投資が「ある」となった一方、サービス業では前回に比べ7.9%減少した。



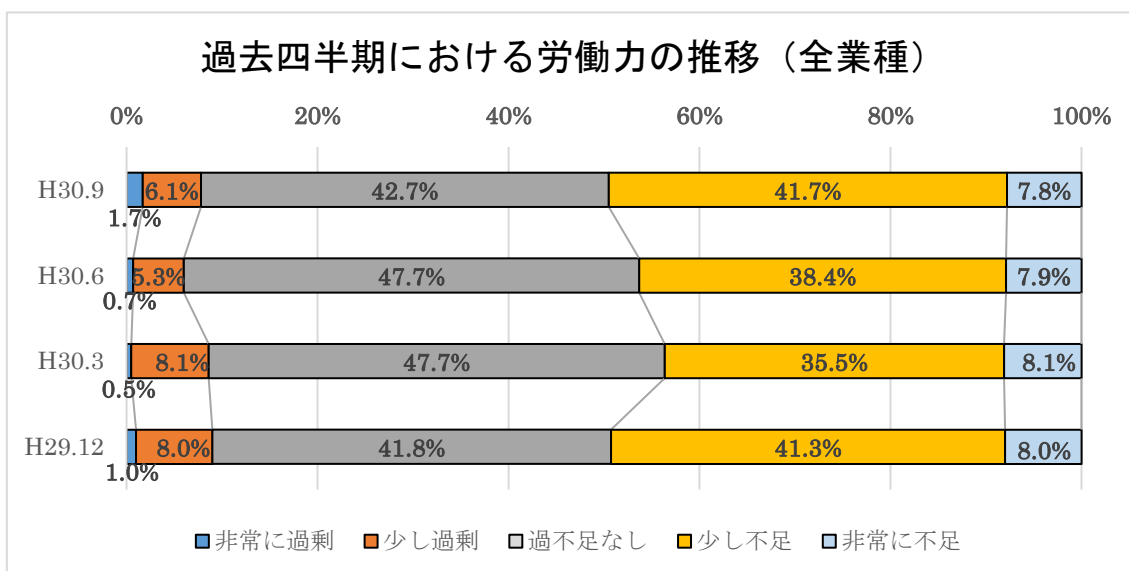
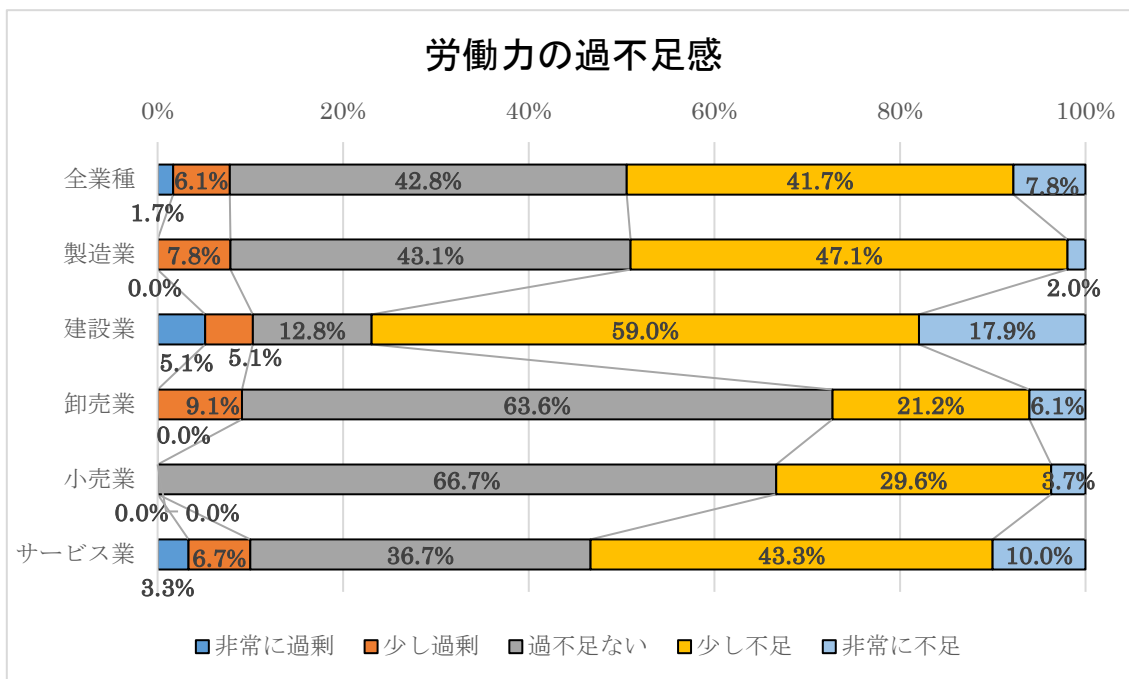
今後3ヶ月以内に設備投資の予定があると回答した方に対して、導入する予定の設備内容を伺ったところ、74.1%の事業所が「設備の更新」を行うと回答。前回調査に引き続き、設備更新に意欲的な姿勢が見受けられ、中には台風被害による設備の買い替えといったものも挙げられた。

3ヶ月前の調査に比べ「設備の更新（前回95.0%）」が減少した理由としては、「設備の更新」が10.9%減少する反面、「生産の増強（前回10.0%）」8.5%上昇や「合理化・省力化（前回5.0%）」9.8%上昇といった前向きな投資に変わったためであると思われる。



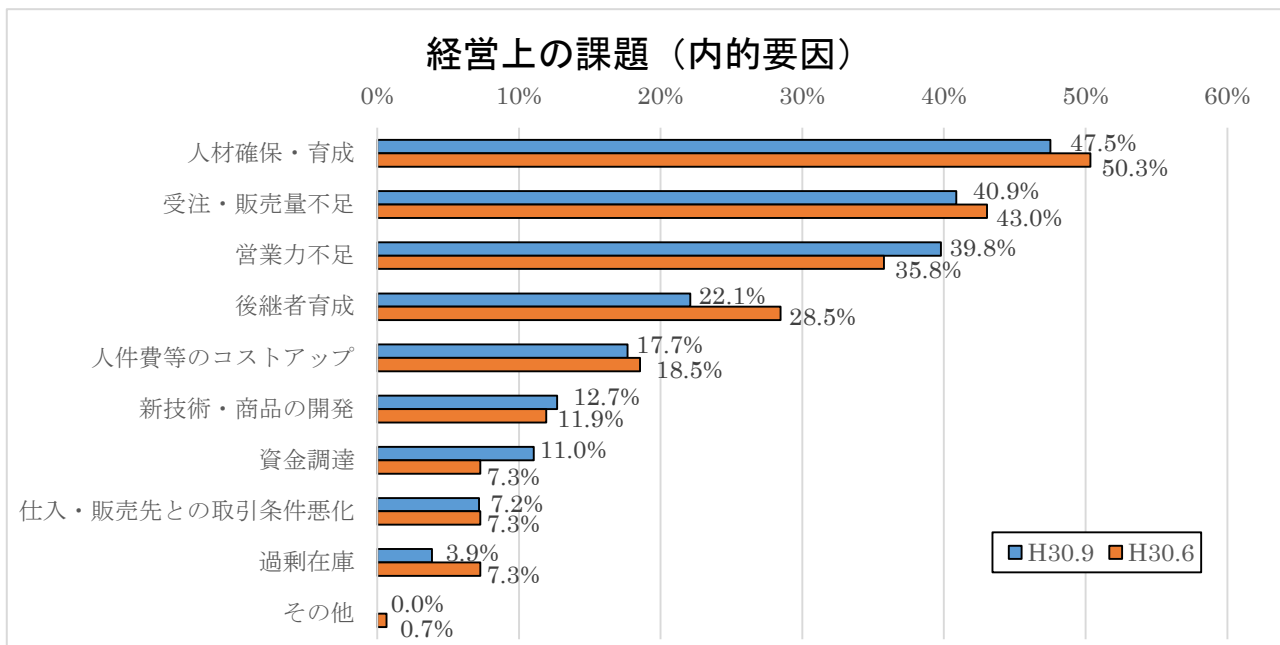
## 【労働力】

労働力の過不足感については、全業種では42.8%の事業所が「過不足ない」と回答した一方で、41.7%の事業所が「少し不足」と回答した。業種別では建設業が「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」と回答した割合は76.9%と、前回（77.5%）から依然として他業種に比べて非常に高い状態が続いた。また、サービス業においては「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」が53.3%と前回（27.8%）と比べて1.92倍に増加し、建設業、サービス業では人手不足が顕著に表れる結果となった。

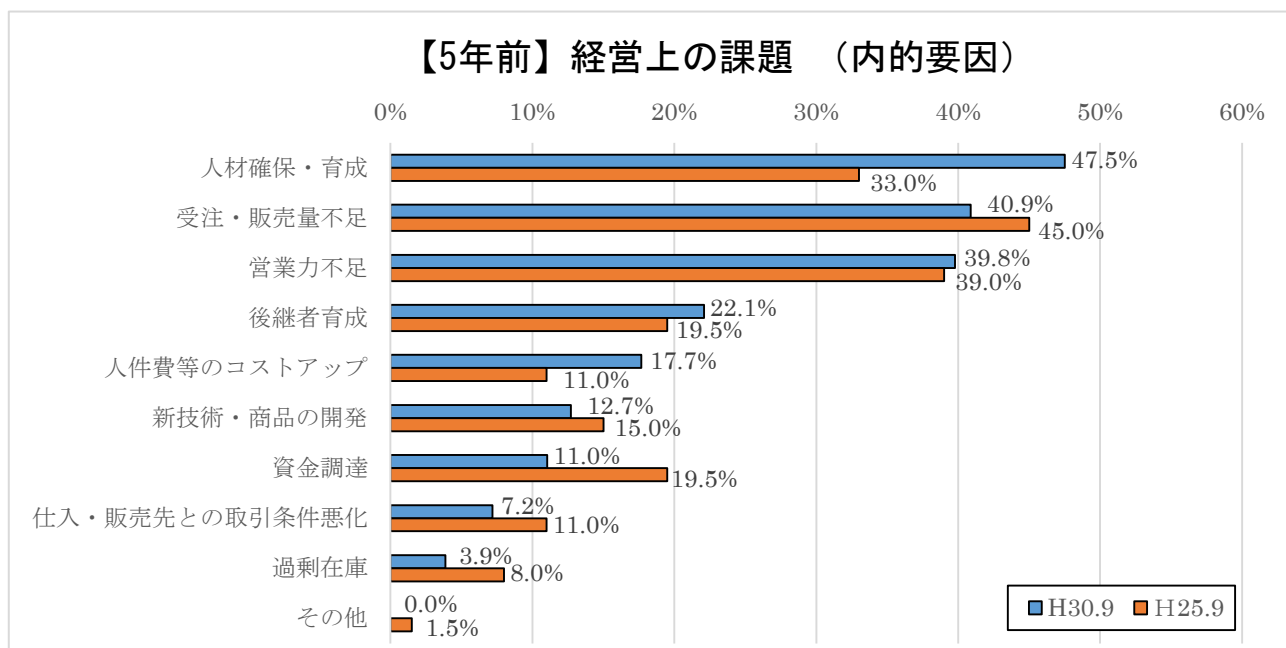


## 【経営課題(内的要因)】

経営上の課題(内的要因)については、前回調査同様に「人材確保・育成(47.5%)」、「受注・販売量不足(40.9%)」、「営業力不足(39.8%)」を課題として挙げている事業所が多くなった。また、今回の調査では「営業力不足」39.8%(前回比4.0%上昇)、「資金調達」11.0%(前回比3.7%上昇)、「新技術・商品の開発」12.7%(前回比0.8%上昇)となった。前回調査同様に、人材の確保や受注・販売量の不足が課題として挙げられる中、打開策として新商品の開発や、売上増加に向けた営業力の強化を意識している事業所が見受けられた。

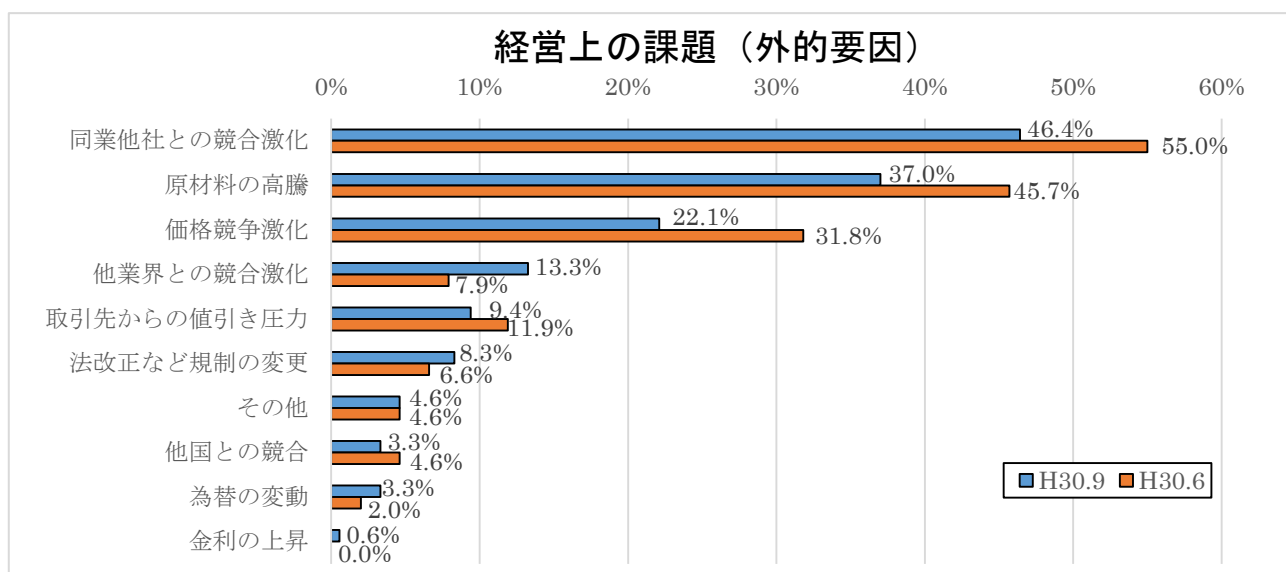


5年前の調査結果との比較を行うと「人材確保・育成」、「人件費等のコストアップ」を課題とする事業所が急増していることが分かる。また、「資金調達」を課題として挙げる事業所の割合は少なくなっていることから、5年前より景気が回復し、金融機関等からの借入も容易になったと推測できた。

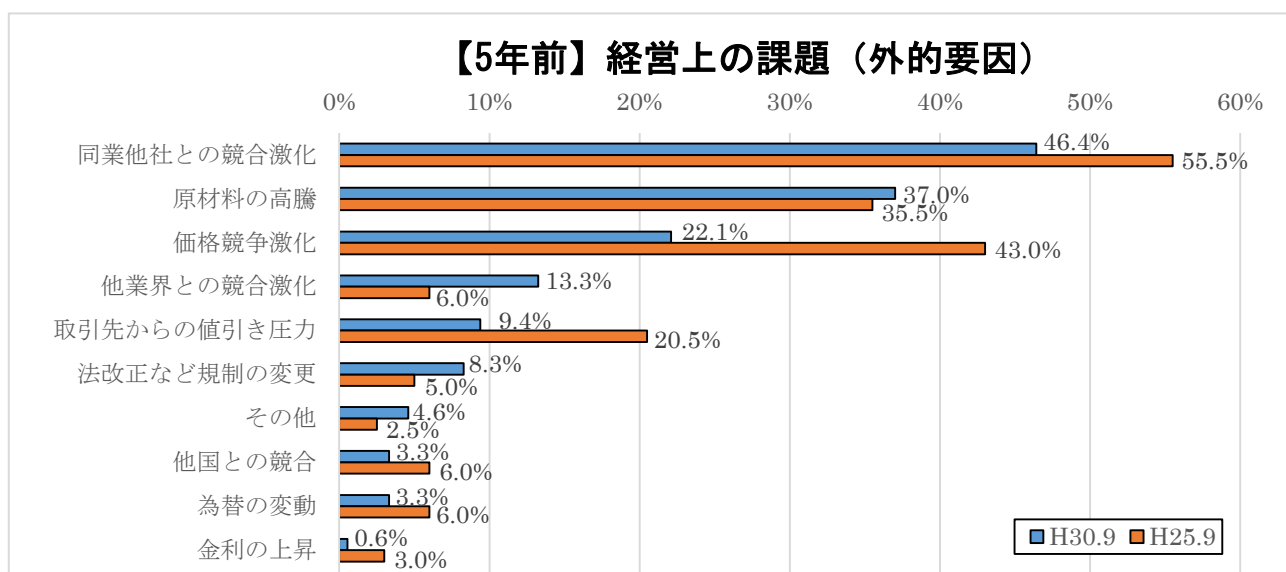


## 【経営課題(外的要因)】

経営上の課題(外的要因)としては、前回調査同様に「同業他社との競争激化(46.4%)」、「原材料の高騰(37.0%)」の占める割合が多くなった。今回は、「他業種との競合激化」13.3%(前回比5.4%上昇)となり、経営の多角化により、今までなかった業界との競合が発生していることが見受けられた。



5年前の調査結果との比較を行うと、景気回復もあり「同業他社との競争激化」、「価格競争激化」が以前より大幅に減少している。一方、近年の業態の変更や経営の多角化等により「他業界との競合激化」が増加している。



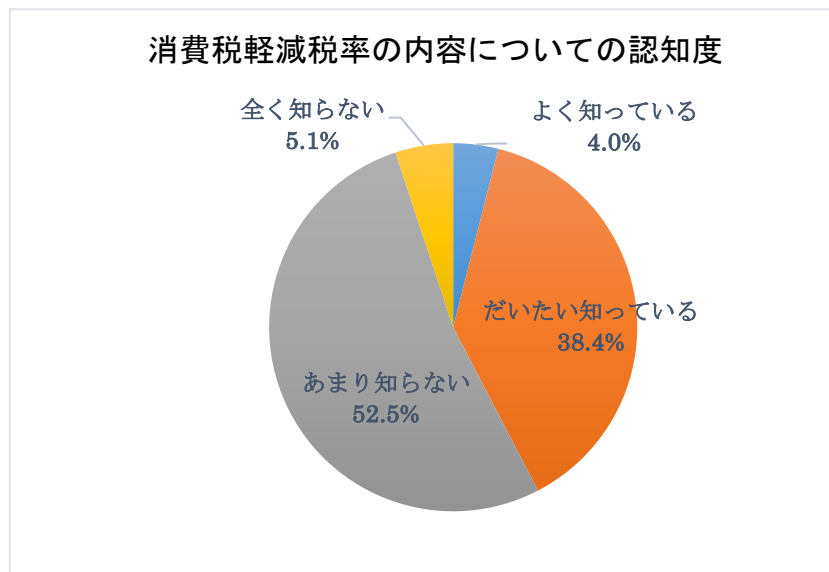
## トピックス調査

### 【消費税軽減税率について】

来年（2019）10月から消費税増税（10%）に伴い、軽減税率制度(8%)が導入予定である。軽減税率は「飲食料品（酒類・外食を除く）」や「新聞（定期購読契約で週2回以上発行）」に適用されるもの、食品等を販売する小売業や飲食業だけでなく食品等を購入する場合も適用となることから、多くの業種で対応が必要となるため、今回は消費税増税に伴う、軽減税率導入への対策について伺った。

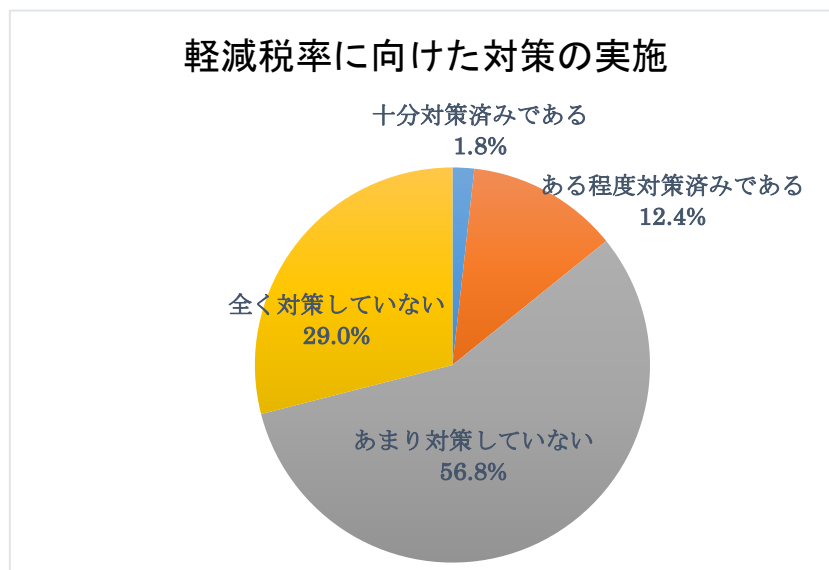
### 【消費税軽減税率の内容についての認知度】

軽減税率について「知っている」（「よく知っている」＋「だいたい知っている」）と回答したのは42.4%であり、半数以上が軽減税率について「知らない（あまり知らない＋全く知らない）」という結果となった。



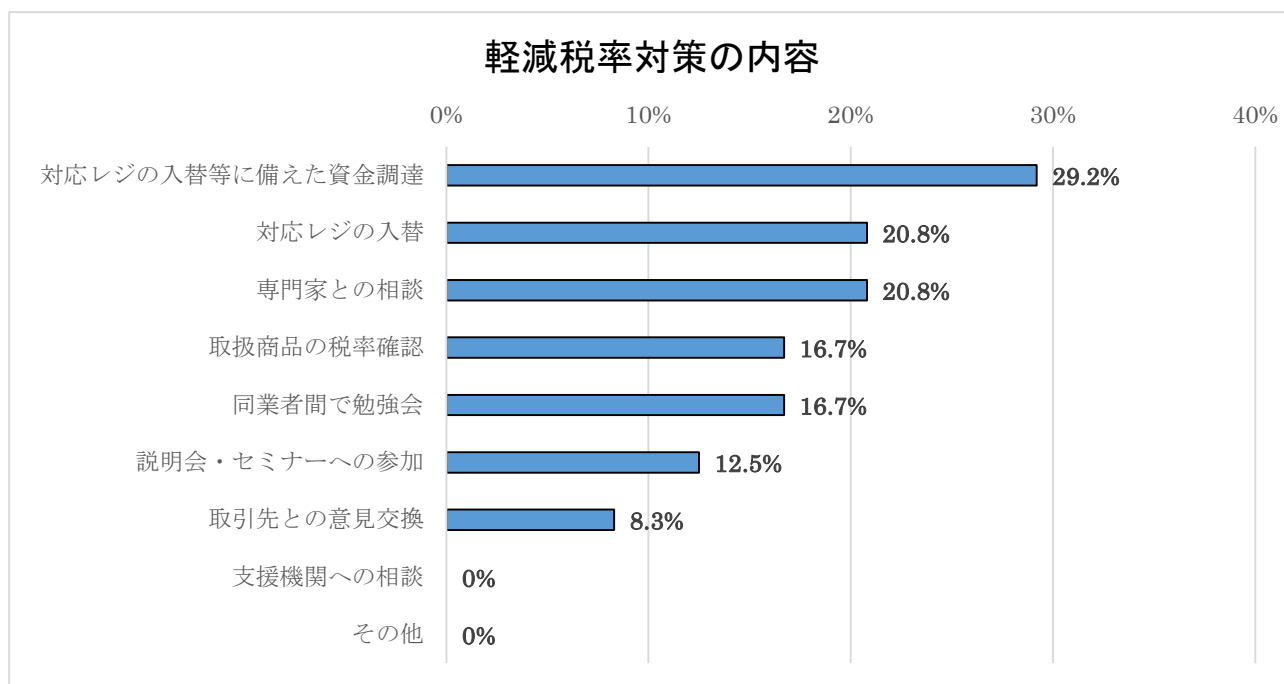
### 【軽減税率に向けた対策の実施】

軽減税率に向けた対策を行ったか伺ったところ、「対策していない」（「あまり対策していない」＋「全く対策していない」）が85.8%と大多数を占め、その内約3割の事業所が「全く対策していない」との回答となった。



## 【軽減税率対策の内容】

前問で「対策を行った」（「十分対策済みである」＋「ある程度対策済みである」）と回答した事業所 14.2%に対して、どのような対策を行ったか伺ったところ、最も多かったのが「対応レジの入替等に備えた資金調達（29.2%）」であった。次いで、「対応レジの入替え（20.8%）」、「専門家との相談（20.8%）」であった。



## 【軽減税率対策の実施時期】

前々問で「対策していない」（「あまり対策していない」＋「全く対策していない」）と回答した事業所 85.8%に対していつごろから対策を行う予定か伺ったところ、半数以上の 51.7%の事業所が「ぎりぎりに行う予定」となった。

